

大学生の地域活動がまちづくりに及ぼす影響

岐阜大学 学生会員 ○永井信明
 岐阜大学 正会員 杉浦聡志
 岐阜大学 正会員 高木朗義

1. はじめに

わが国では、1995年の阪神・淡路大震災や1998年の特定非営利活動促進法（NPO法）を契機とし、地域住民と行政、企業などの多様な主体が関係性を構築して地域を健全に運営するまちづくりが実践されている¹⁾。木村はまちづくりにおいて、「よそのもの」、「ばかもの」、「わかもの」が重要であると指摘している²⁾。外部者を含む多様な主体がそれぞれの立場でまちづくりに関わることで、潜在化している地域の魅力発見や新たな担い手の創出につながる。筆者らはすでに外部者の一例として行政によるまちづくり支援の影響について考察している³⁾。

本研究では大学生の地域活動がまちづくりに及ぼす影響について考察する。大学生がまちづくりに対して有用な活動をするための要件を整理することを目的とする。

2. 研究の手法

研究フローを図1に示す。行政と大学生が地域活動を行っている岐阜県飛騨市宮川町種蔵地区、養老町、郡上市石徹白地区、郡上市明宝地区の活動事例を整理し、以下の質問項目に沿ってヒアリング調査をすることで活動実態と地域住民がもつ大学生の地域活動の特徴を明らかにする。

- (1)大学生の地域活動による印象
- (2)大学生の地域活動による成果
- (3)大学生の地域活動による住民の意識・行動の変化
- (4)まちづくり活動に関する取り組み継続の有無
- (5)大学生の地域活動の課題

大学生の地域活動を整理する際にテキストマイニングを行う。ヒアリング内容をテキスト化し、頻出単語とその単語の相関性を確認することで客観的な考察を加える。本稿では、飛騨市宮川町種蔵地区のヒアリング結果から考察する。

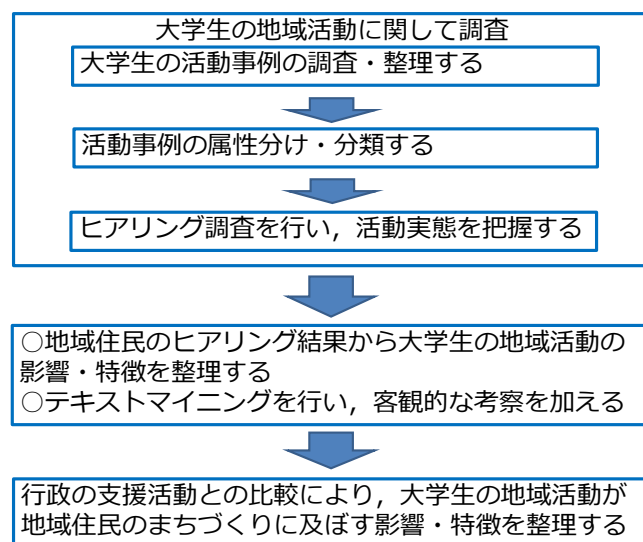


図1 研究のフロー

表1 行政と大学生の地域活動事例

地域	活動事例	行政 ³⁾	大学生
種蔵	地域ビジョンづくり	○	
	たねくら新そば祭り	○	○
養老	養老まちづくりリーダー養成講座	○	○
	養老まるごと玉手箱	○	○
	養老クエスト		○
石徹白	地域ビジョンづくり	○	○
	長良川おんぱく		○
	インターシップ		
明宝	ワークショップの開催	○	
	長良川おんぱく		○

※養老のヒアリング調査は大学教員・関係者とする

3. 支援活動の整理

本稿の考察対象の種蔵地区は8世帯の小規模集落である。種蔵地区を含む宮川町内の有志が「種蔵を守り育む会」を結成して、「たねくら新そば祭り」を毎年実施することで、集落の活力向上を図っている。学生組織である「岐阜大学地域システムデザイン研究グループ」は「たねくら新そば祭り」に運営スタッフとして8年間継続的に参画するとともに、集落内を回遊させるための写真コンテストやウォークラリーなどを独自に企画、運営している。

種蔵地区以外での大学生の活動として、岐阜大学の講義として取り組まれている「長良川おんぱく」がある。学生が地域資源を生かした体験型プログラムを企画、運営して、地域の魅力を発信している。表1に示すように、その他、大学生の地域活動は様々なものがある。

4. ヒアリング調査

「種蔵を守り育む会」のヒアリング結果を以下に示す。

(1) 大学生の地域活動による印象

地区住民の声として、「若い人と接することは刺激になる」、「ワイワイできるから楽しみである」があることから、種蔵地区は大学生の地域活動を好意的にとらえている。8年間も継続して「たねくら新そば祭り」を手伝ってくれるからこそ、「一般のボランティアとは違って、本当に考えを持っている子が来てくれるから私たちも期待できる」と地域住民は大学生の活動に期待感と信頼感を抱いている。

(2) 大学生の地域活動による成果

「年寄ばっかりの味気ないイベント」が大学生の活動によって、「他の地域にはない魅力的なイベントになっている」と種蔵地区は評価している。

(3) 大学生の地域活動による住民の意識・行動の変化

「継続して関わってくれるので、今年もみなさんが来るから頑張らない」と、大学生の地域活動が「種蔵を守り育む会」の活動動機となっている。

(4) まちづくり活動に関する取り組み継続の有無

「岐阜大学さんに来ていただかないと、今となつては大変なことになる」と述べるように、大学生の地域活動がイベント開催の継続性に貢献している。

(5) 大学生の地域活動の課題

「特にない」と述べられるように、種蔵地域では、大学生の地域活動に関して課題を認識していない。

(6) まとめ

種蔵地域では、大学生の地域活動が地域住民の活動意欲の向上に寄与していることを確認した。大学生が継続して地域に関わることで、「たねくら新そば祭り」の継続した開催に貢献していると見える。図2

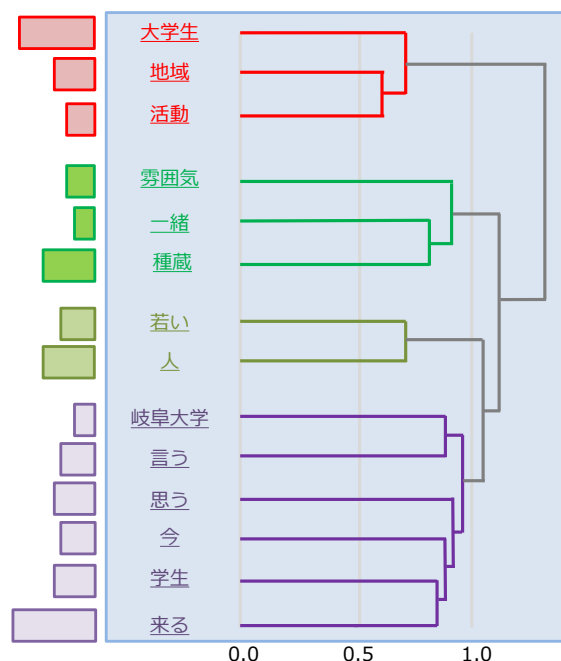


図2 テキストマイニング

のテキストマイニングからも、「種蔵」と「一緒」、「雰囲気」の単語に続いていることから、大学生の地域活動が地域住民のまちづくりに影響を及ぼしていると考えられる。

5. おわりに

今後は、郡上市明宝地区、郡上市白鳥町石徹白地区、養老町を対象としたヒアリング調査を実施し、大学生の活動実態を調査する。それらの結果から大学生がまちづくりに対して有用な活動をするための要件を整理することを目的とする。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP26289173 の助成を受けたものである。ここに記して、感謝の意を表する。

参考文献

- 1) 三船康道・まちづくりコラボレーション, まちづくりキーワード辞典, 学芸出版社, 262-263, 2009.
- 2) 木村俊昭, 「できない」を「できる!」に変える スーパー公務員・木村俊昭の人と地域を元気にする仕事術, 実務教育出版, 2010.
- 3) 永井信明, 大野沙知子, 高木朗義, 住民の主体的なまちづくり活動を促進する県職員の伴走型支援活動に関する考察, 土木計画学研究・講演集, Vol52.79, 2015.